

# 「力学計算塾」

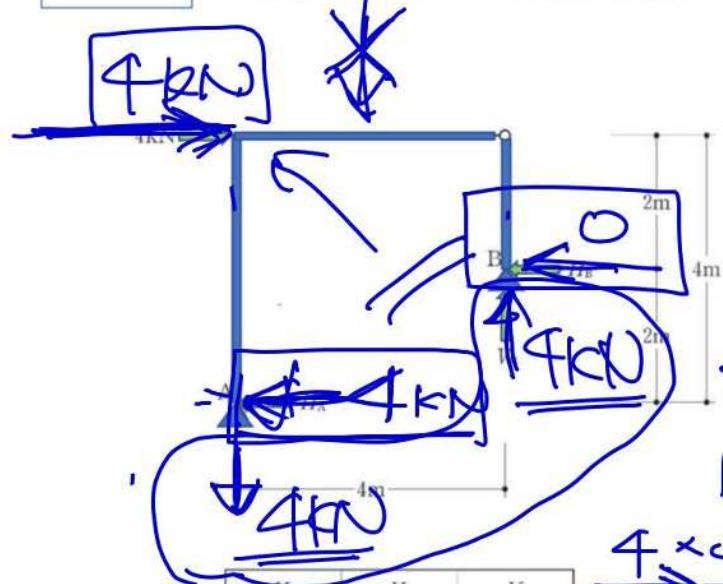
## スリーヒンジラーメン攻略

### (全2回)

1. スリーヒンジラーメンの応力の求め方
2. 山形スリーヒンジラーメンの応力の求め方

## 宿題

2級-H25 A点、B点に生じる鉛直反力VBと水平反力HA, HBの値を求める。



	$H_A$	$H_B$	$V_B$
1.	0 kN	+ 4 kN	+ 4 kN
2.	+ 2 kN	+ 2 kN	+ 4 kN
3.	+ 2 kN	+ 2 kN	- 3 kN
4.	+ 2 kN	+ 2 kN	+ 3 kN
5.	+ 4 kN	0 kN	+ 4 kN

水平方向は左向きを+

反力4

$$\Sigma M_B = 0$$

$$+ H_A \times 2 + V_A 4 + 4 \times 2 = 0$$

$$2H_A + 4V_A + 8 = 0 \quad \text{---(1)}$$

$$\Sigma M_C = 0$$

$$\Sigma M_C = 0$$

$$H_A \times 4 + V_A \times 4 - H_C = 0$$

$$4H_A + 4V_A = 0 \quad \text{---(2)}$$

$$\Sigma V_A$$

$$\textcircled{1}$$

$$\textcircled{2}$$

$$2H_A + 4V_A + 8 = 0$$

$$4H_A + 4V_A = 0$$

$$-2H_A$$

$$H_A$$

$$= -8$$

$$= 4$$

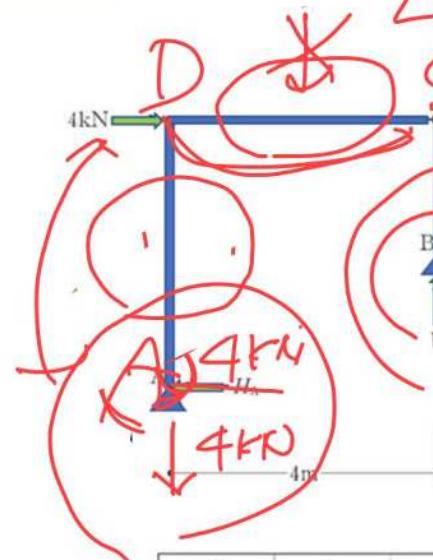
$$4 \times 4 + 4V_A = 0$$

$$V_A = -4 \text{ kN}$$

## 宿題

2級-H25

A点、B点に生じる鉛直反力VBと水平反力HA, HBの値を求める。

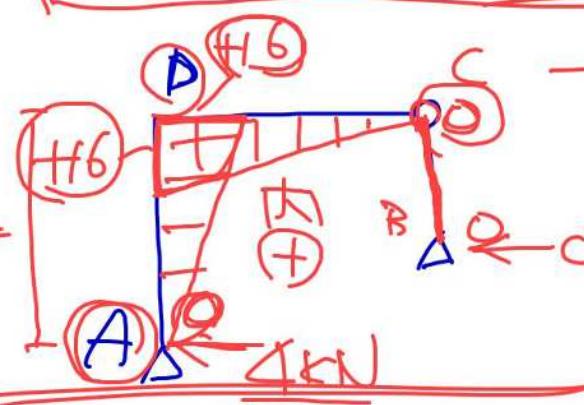


	$H_A$	$H_B$	$V_B$
1.	0 kN	+ 4 kN	+ 4 kN
2.	+ 2 kN	+ 2 kN	+ 4 kN
3.	+ 2 kN	+ 2 kN	- 3 kN
4.	+ 2 kN	+ 2 kN	+ 3 kN
5.	+ 4 kN	0 kN	+ 4 kN

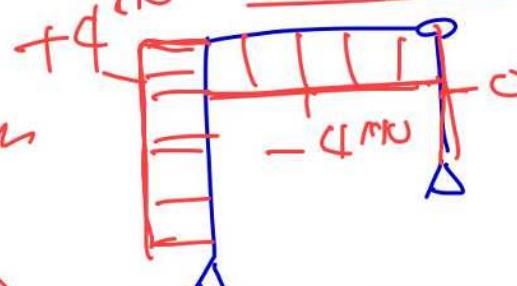
$$\frac{M}{\text{変化量}} = \frac{0 \rightarrow 16}{16 - 0} = +16 \text{ kNm}$$

ここで  
△V\_A = +4 kN

ゆがみモーメント



せん断力



$D \rightarrow C$

$M_{H6} \rightarrow 0$

支点  $O-16F-16$

4m

$$kM = 0$$



せん断力

ゆがみモーメント

さくの割合

変化量

変化方向

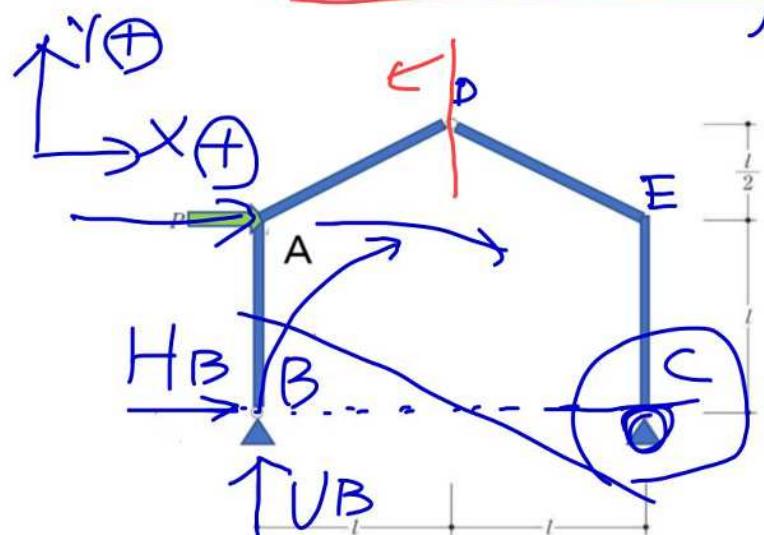
$$\frac{O \rightarrow C}{C \rightarrow O} \Rightarrow 0 : 0$$

H30-No3

A点の曲げモーメントを求める。

$$M = \frac{H_B \times L}{2}$$

B支点の水平反力を求める



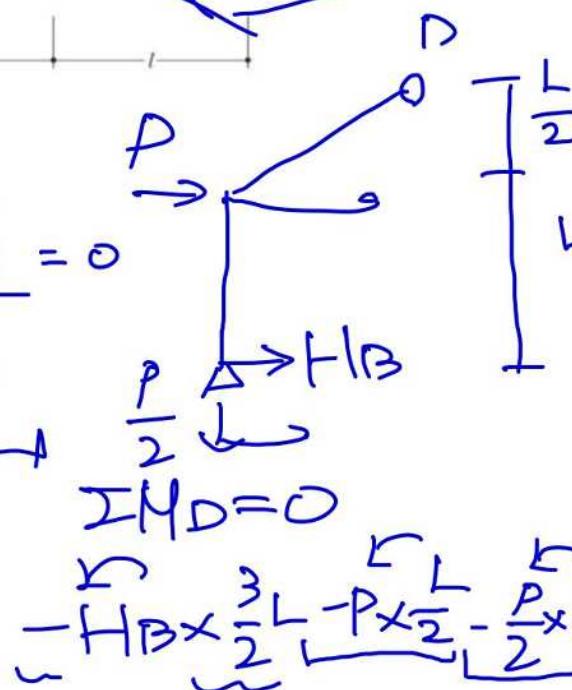
B,CのうちBのみ  
ずかねば...

$$\sum M_c = 0$$

$$V_B \times 2L + P \times L = 0$$

$$V_B = -\frac{P}{2} \text{ (T)}$$

$$H_B = -\frac{2}{3}P \text{ (T)}$$



B支点反力を求める

B支点のまわりに回る  
モーメントのつもりをとる

$$\begin{aligned} \kappa^o &= \frac{\pi}{2} \quad r = 0.43 \\ \tau - y &= \text{つり合ひ} \end{aligned}$$

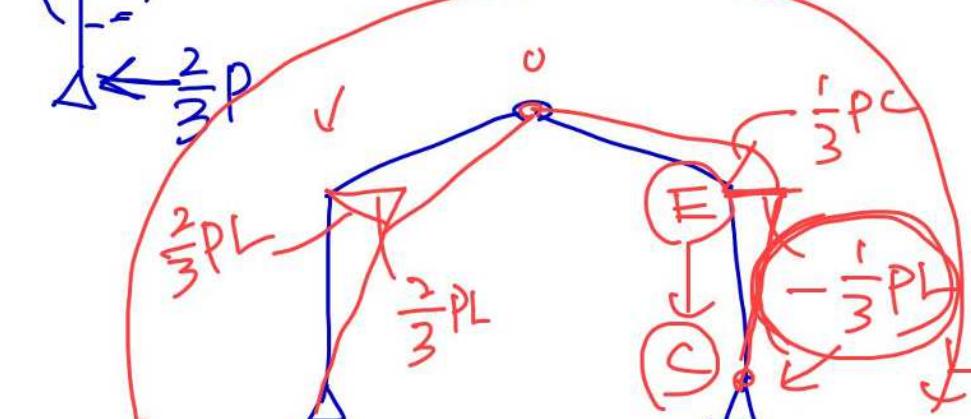
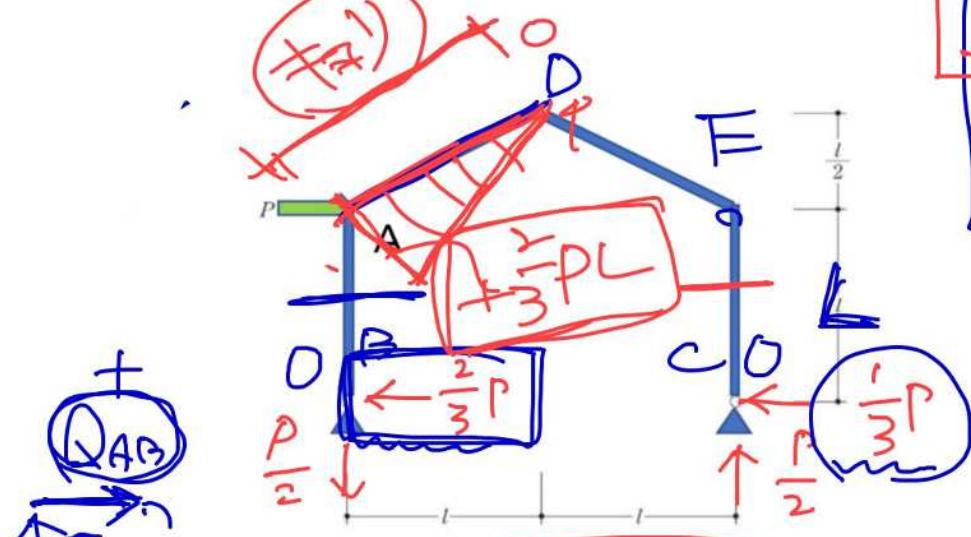
H30-No3

A点の曲げモーメントを求める。

$$M_A = \frac{2}{3} PL$$

$$M_E = \frac{1}{3} PL$$

$$\begin{aligned} & +\frac{1}{3} PL \\ & \quad \leftarrow \frac{1}{3} P \end{aligned}$$



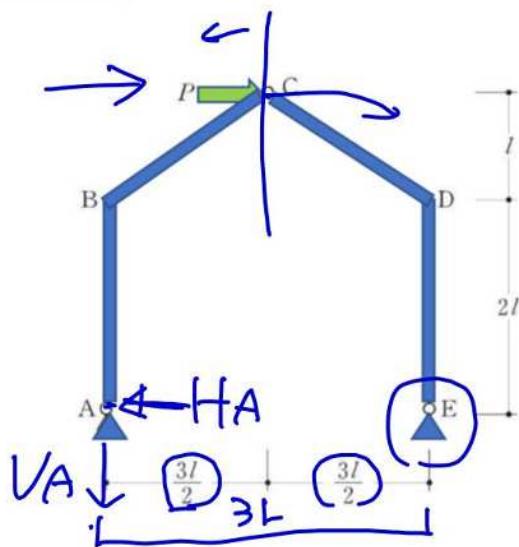
曲げモーメント

=

$$Q_{AB} = \frac{\frac{2}{3} PL}{l} = \frac{2}{3} P$$

H27-No3

最も不適当なものを選ぶ。



1. 支点Aの水平反力の大きさは、 $\frac{P}{2}$ である。

2. 支点Aの鉛直反力の大きさは、Pである。

3. 部材ABの材端Bにおける曲げモーメントの大きさは、 $Pl$ である。

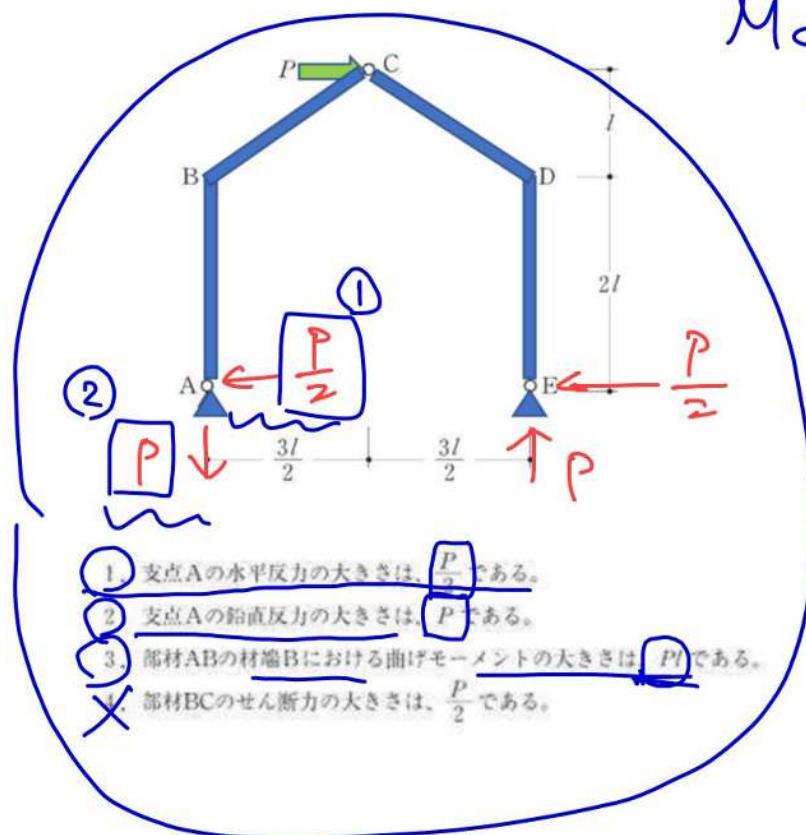
4. 部材BCのせん断力の大きさは、 $\frac{P}{2}$ である。

$$\begin{aligned}\sum M_E &= 0 \\ -V_A \times 3L + P \times 3L &= 0 \\ V_A &= P \text{ (下)}$$

$$\begin{aligned}\sum M_C &= 0 \\ H_A \times 3L - P \times \frac{3}{2}L &= 0 \\ H_A &= \frac{1}{2}P \text{ (左)}$$

H27-No3

最も不適当なものを選ぶ。



$$M_C = H_A \times \frac{l}{2}$$
$$= \frac{P}{2} \times 2L = PL$$

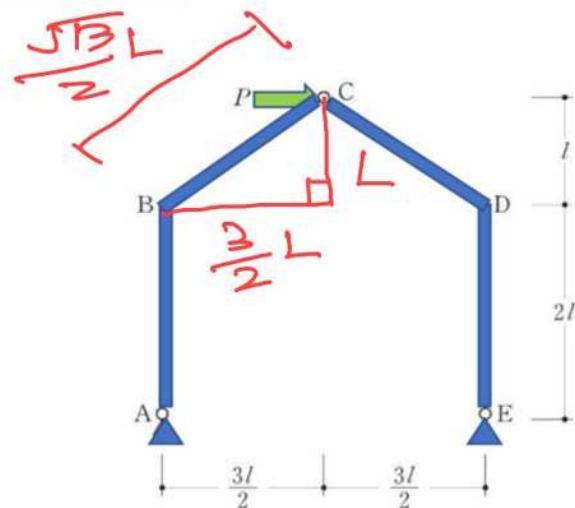
=

③

1. 支点Aの水平反力の大きさは、 $\frac{P}{2}$ である。
2. 支点Aの鉛直反力の大きさは、 $P$ である。
3. 部材ABの材端Bにおける曲げモーメントの大きさは、 $PL$ である。
4. 部材BCのせん断力の大きさは、 $\frac{P}{2}$ である。

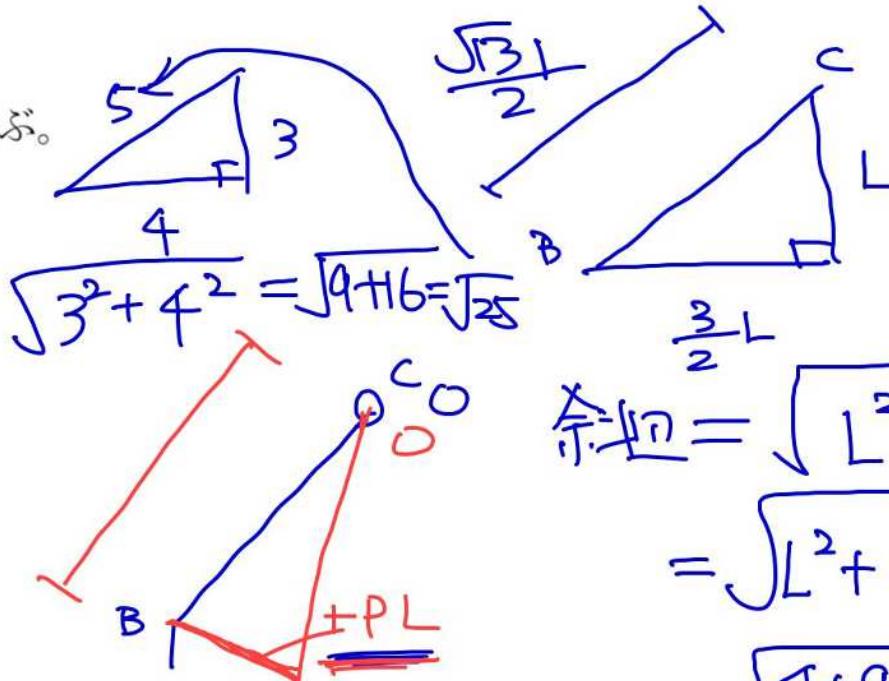
H27-No3

最も不適当なものを選ぶ。

1. 支点Aの水平反力の大きさは、 $\frac{P}{2}$ である。

2. 支点Aの鉛直反力の大きさは、Pである。

3. 部材ABの材端Bにおける曲げモーメントの大きさは、PLである。

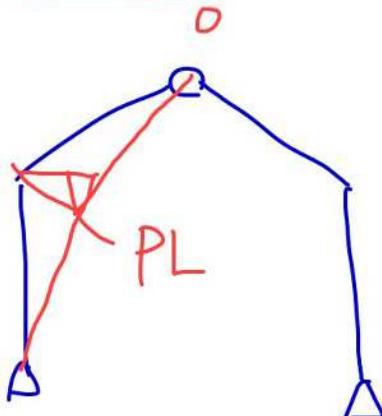
4. 部材BCのせん断力の大きさは、 $\frac{P}{2}$ である。

$$\begin{aligned} \text{斜辺} &= \sqrt{L^2 + (\frac{3}{2}L)^2} \\ &= \sqrt{L^2 + \frac{9}{4}L^2} \\ &= \sqrt{\frac{4+9}{4}L^2} = \sqrt{\frac{13}{4}L^2} \end{aligned}$$

 $Q_{BC}$ を求める

←せん断力=曲げモーメントの大きさの割合

$$\frac{\sqrt{13}}{2}L$$



$$\begin{array}{c} \text{浮き車} \\ \text{区間} \end{array}$$

$$\begin{array}{c} +PL \rightarrow O \\ O-PL = -PL \\ \frac{\sqrt{13}}{2}L \end{array}$$

$$= \frac{2P}{\sqrt{13}} = Q_{BC}$$